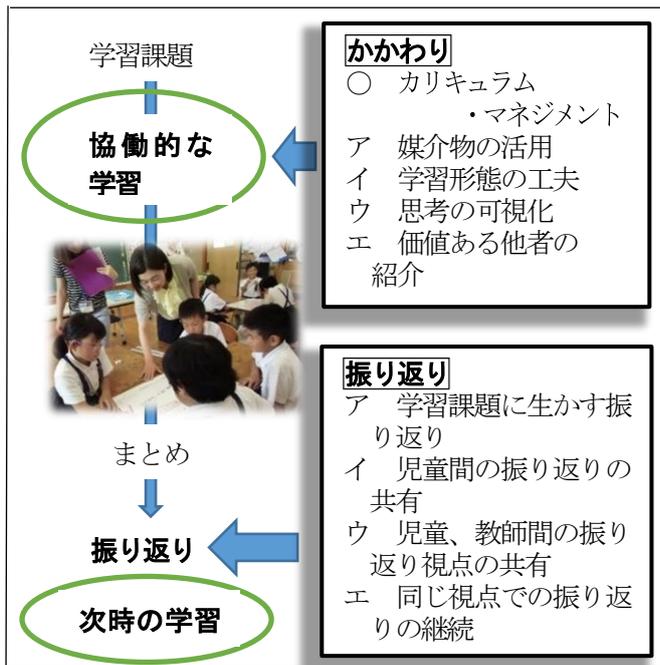


1 研究主題 **きき合い かかわり合い 学びを楽しむ 子どもの育成**

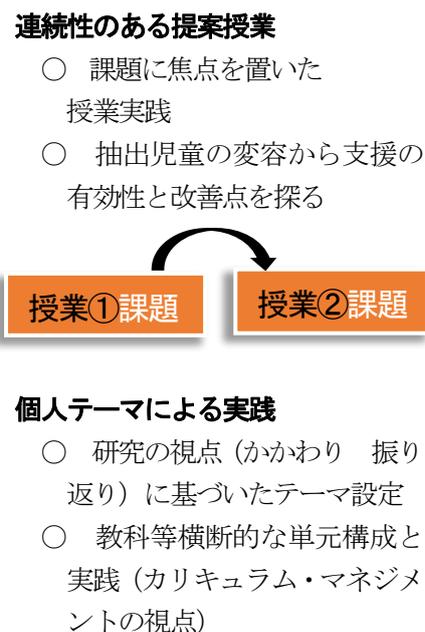
2 研究の具体

「主体的・対話的で深い学び」を実践するための教師の支援を「かかわり」「振り返り」の視点から実践・考察する研究

【内容】「かかわり」「振り返り」を促す教師の支援 ア～エ



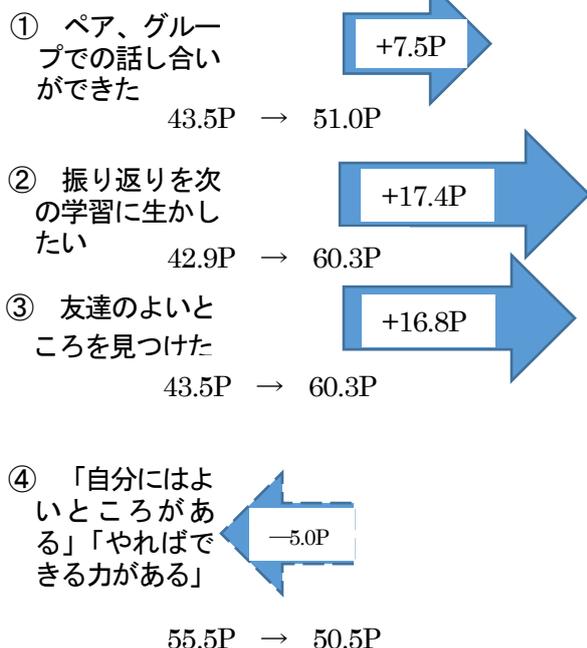
【方法】



3 研究の検証及び改善の手立て

5月と11月の児童の質問紙の結果を比較し、「よくできた」と回答した児童の割合（回答は4件法）

全体の主な項目の傾向



検証

- 昨年度の課題「児童に振り返りのよさを実感させる」は、約6割の児童が振り返りを積極的に次の学習に生かしたいと答えていることから、振り返りの有効性を実感してきていることが推察できた。
- 友達によさに目を向ける児童の割合が伸びていることから、グループでの学習や振り返りで友達によさに目をむける取組が、向上した一因ではないかと考える。

改善の手立て

- 「振り返り」の個々の支援の有効性と課題を明確にし、改善を図ることで、「振り返りを次時の学習に生かしたい」という児童の思いをより効果的に生かすことができると考える。
- 左記④から自己有用感を育むまでの効果があったとは言えない。かかわりの中で自己有用感を向上させるための取組について、今後、研究を改善していきたいと考える。